

# 中期目標

# はじめに

西日本工業大学は昭和42年の開学以来、「建学の精神」に基づき、約15,000人の卒業生を社会に輩出し、次代を担う技術者の育成や研究を通じて社会に貢献して参りました。

一方、急速な少子高齢化やグローバル化の進展により、社会構造や経済構造が大きく変化するなか、大学に対する社会からの期待も変化しています。大学はより敏感に社会の変化に対応しなければ、その期待に応え、社会に貢献し続けることは出来ません。

本学は、平成29年度に迎える大学開学50周年に向け、全教職員がこれまでにないスピード感をもって改革や改善に取り組み、時代と社会に求められる「新生西日本工業大学」の創造を目指す所存です。

## 中期目標の目的等について

今回の中期目標は、本学の原点である「建学の精神」に立ち返り、特に教育の質の向上を最大の目的としました。

また、目標期間を西日本工業大学の開学50周年の節目と学園の役員及び大学学長の任期に合せ、平成26年4月1日から平成30年3月31日の4年間としました。

## 中期目標（平成26年度～29年度）

### I．中期目標

－ テクノロジーとデザインの融合を目指して －

- (1) 「人を育て技術を拓く」の精神を礎とし、人間性豊かな技術者を育成する
- (2) 地域社会に根差しつつ、グローバルな視点で社会貢献を果たす
- (3) 教員と職員が一体となり、社会の変革や未来を見据えた教育改革、組織改革を推進する

### II．実施計画の具体策と実施期間について

具 体 策	実施期間
1) 教育システムの確立	
アカデミックカレンダーの検討	平成27年度
教育課程の改革	平成26～27年度
教養教育の充実	平成26年度
教職課程の再検討	平成27年度
「新々NIT教育」の構築	平成26～27年度
教育の質保証の実質化	平成26～29年度
大学院の充実	平成28～29年度
情報システムの安定稼働の維持	平成26～28年度
2) 研究活動の充実	
研究活動の活性化	平成26年度
教育組織と研究組織のあり方の検討	平成27年度
科研費等外部研究資金獲得の仕組み	平成26～29年度
付属研究所等の創設	平成26～29年度

具 体 策	実 施 期 間
<b>3) 地域貢献力の強化</b>	
COC 事業の着実な実行	平成 26 ～ 29 年度
地域社会への大学施設利用促進の検討	平成 26 年度
学生による地域ボランティア活動の支援	平成 26 ～ 29 年度

<b>4) 学生支援体制の充実</b>	
全学的就職支援体制の確立	平成 26 年度
インターンシップの推進	平成 26 ～ 29 年度
企業アンケートの活用	平成 27 ～ 29 年度
後援会、同窓会との連携強化	平成 27 年度
ガイダンス制度の見直し	平成 26 年度
学生生活の支援	平成 26 ～ 29 年度

<b>5) 学生確保の仕組み</b>	
効率的、効果的な広報戦略の展開	平成 26 ～ 29 年度
オープンキャンパスの見直し	平成 26 年度
募集活動の仕組み	平成 26 年度
入試方法の検討	平成 26 ～ 27 年度

<b>6) 国際交流の促進</b>	
学生の海外留学推進	平成 26 ～ 29 年度
留学生の受入れ推進	平成 26 ～ 29 年度
海外の大学等との連携促進	平成 26 ～ 29 年度

<b>7) ブランドの構築と浸透</b>	
西工大ブランドイメージの構築	平成 26 ～ 29 年度
開学 50 周年記念事業計画の策定	平成 27 ～ 29 年度

<b>8) 組織機構の改革</b>	
学部学科の再編	平成 26 ～ 29 年度
教職員構成の適正化	平成 26 ～ 29 年度
ガバナンス、マネジメントの強化	平成 26 ～ 27 年度
管理運営体制の整備	平成 26 ～ 27 年度
教育研究活動評価体制の整備	平成 26 ～ 27 年度
危機管理体制の充実	平成 26 年度

<b>9) アカウンタビリティの確保と情報公開の強化</b>	
外部評価組織の検討	平成 28 ～ 29 年度
大学ポートレートの作成、HP の充実	平成 26 ～ 29 年度
英語による情報提供	平成 27 年度

以上